

里山を守ろう！里山で育とう

in Suzuka

国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成事業

午前 里山ボランティア



9月23日(日) 9:30~

里山を親子でまもるボランティア

里山は、小さな生き物や草花など命があふれる空間です。木々が静かに息づいて、真夏の昼間でもひんやりしたさわやかな空気にあふれています。豊かな自然を味わいながら、里山の小径（こみち）をよみがえらせてみませんか。鈴鹿サーキットにほど近い徳居町には、鈴鹿市が調査に基づいて指定した重要生態系地域が広がっています！

参加費●一人 500円

持ち物●お弁当 飲料 ながづつ

雨天の場合●中止

会場●徳居町の里山 鈴鹿市徳居町北山3-6-2

午前9:30 鈴鹿カルチャーステーションに集合
(鈴鹿市阿古曾町14-28) 裏面の地図参照

受付～里山へ移動

10:00 あいさつ (徳居町の里山)
里山の小径づくり

12:00 解散

申し込み・問い合わせ先●

鈴鹿カルチャーステーション(担当 中島)

TEL&FAX 059-389-6603

Email scsoffice@scs-3.org

主催 NPO 法人 鈴鹿循環共生パーティー

共催 NPO 法人 循環共生社会システム研究所

後援 鈴鹿市

里山を守ろう！里山で育とう in Suzuka

街と里山をつなぐシンポジウム 私たちの未来を考えよう！

9月23日(日) 13:00~



人が足を踏み入れない「奥山」と人が暮らす「街」の境目に、人が関わってきた「里山」がありました。「里山」を手入れし、燃料のマキや炭をつくり、落ち葉を堆肥にしたり柿や桑など様々な木の実やキノコや山菜を食糧にしてきました。「里山」から湧き出る滋味豊かな水で潤された「里地」には田んぼや畑が広がっていきました。しかし電気や石油を大量に使う暮らしや産業が始まると、「里山」は見向きもされなくなり、すでに40年以上たった今はほとんどが荒れた状態となっています。ところが、その「里山」に少し手入れしてみると、体の中から癒されていくような、清浄な空気が満ちていたり、子供たちも何も遊具がなくても時間を忘れるほど遊んで帰ろうとしません。そこでは里山でとれた薪でご飯を炊いたり、炭で暖を取るような、電気に頼らない新しい暮らし方も学べそうです。私たちがごく身近にある「里地」「里山」に楽しく関わることが、もしかすると地球環境問題の解決に繋がる道でもありそうです。このシンポジウムでは、特に「里山」再生の現代的な意味と魅力について、考え、見直していきます。

プログラム

13:00 受付

13:30 基調講演 「みんなでつくる現代のさとやま」



内藤正明

(京大名誉教授・
鈴鹿カルチャーステーション名誉館長)

身近な「里山」の再生は地球環境問題の解決に繋がるのか。

実践紹介Ⅰ 里山はたのし 未来の里山プロジェクト

徳居町の里山で子供たちを受け入れていく意味とその魅力

実践紹介Ⅱ 街のはたけと暮らしをつなぐダンボールコンポストプロジェクト

現代の里地・里山と街の暮らしを考える

15:00 交流会 16:00 解散

参加費 ● 公開シンポジウム & 交流会 500円

主催 ● NPO 法人 鈴鹿循環共生パーティー

共催 ● NPO 法人 循環共生社会システム研究所

後援 ● 鈴鹿市

会場・申込み・お問合せ先 ●

SCS 鈴鹿カルチャーステーション

〒513-0828 鈴鹿市阿古曾町14-28

TEL&FAX 059-389-6603

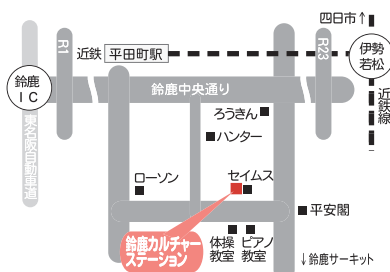
HP <http://www.scs-3.org>

E-mail scsoffice@scs-3.org



アクセス

近鉄「平田町」駅より
徒歩15分・
駐車場あり



里山を親子でまもるボランティアと公開シンポジウム 参加申し込み用紙

氏名(ふりがな)	年齢	性別 男・女	職業
住所(〒 -)			
TEL		Eメール	
参加する企画に○をつけて下さい		里山を親子でまもるボランティア ・ 公開シンポジウム	